

次期芽室町立小中学校配置計画骨子（案）

※ 2 から 5 の下線部は現計画からの変更点

1 計画策定の考え方

学校配置計画とは、将来の児童生徒数や地域の人口動態等を踏まえ、教育水準の維持向上等、より望ましい教育環境を重視し、統廃合や新設等の方針を中長期的に定める計画であります。本計画は、通学距離や学校規模、施設の老朽化、地域づくりとの整合性を考慮し、芽室町教育委員会が策定します。

我が国においては、1990 年代に少子化が深刻な社会問題として認識されるようになり、その後も全国的に少子化が進む中、芽室町においても児童生徒数の減少が続いており、学校の小規模化等による教育環境等への影響が懸念されています。

このようなことから、芽室町教育委員会では、昭和 59 年から芽室町立小中学校配置計画（以下「配置計画」という。）を策定し、直近では平成 30 年 11 月に望ましい教育環境を提供するための、同配置計画（令和元年度から令和 8 年度）を改定してきたところです。

保護者や地域住民の意見を可能な限り尊重する中で、今後の児童生徒数の推移による教育環境への影響等を総合的に判断し、次期「配置計画」（計画期間：令和 9 年度から令和 16 年度）を策定するものであります。

なお、計画期間の前半 4 年間（令和 9 年度から令和 12 年度）は推進期間と位置付け、小中学校統合に向けた準備や統合後の運営に対応し、後半 4 年間（令和 13 年度から令和 16 年度）は展望期間と位置付け、改めて児童生徒数を推計するとともに、次々期計画策定を視野に入れた見直しを行います。

2 計画期間

令和 9 年度から令和 16 年度

3 配置計画策定の基本方針

- ・ 小学校の規模の最低基準を単式 6 学級
- ・ 中学校の規模の最低基準を単式 3 学級
- ・ 通学距離については、徒歩の場合は概ね 4 km 以内、交通機関を利用する場合は通学に要する時間（徒歩時間を含む）を概ね 50 分以内
- ・ 次々期小中学校配置計画に向けた検討

少子化による児童生徒数の減少や、学校の小規模化の進行が予想されるため、次々期配置計画の策定に向けた継続的な検討

4 校区別の計画の考え方

(1) 上美生小中学校校区

今後の児童生徒数や中学校においても複式学級が生じること、アンケート調査の結果等を踏まえ、地域住民や保護者との協議を経て、令和 9 年度末に上美生小学校及び上美生中学校を閉校し、令和 10 年度に芽室小学校及び芽室中学校に統合することを総合的に判断

(2) 芽室南小学校校区

今後の児童数の見込みやアンケート調査の結果等を踏まえ、地域住民や保護者との協議を経て、令和 9 年度末に芽室南小学校を閉校し、令和 10 年度に芽室小学校に統合することを総合的に判断

5 実施計画

(1) 小学校

① 芽室小学校

現行地域における学校選択制度（特定地域選択制度）の継続
令和 10 年 4 月 1 日から上美生小学校及び芽室南小学校と統合

② 芽室西小学校

変更なし

③ 芽室南小学校

令和 9 年度末に閉校し、令和 10 年 4 月 1 日に芽室小学校と統合

④ 上美生小学校

令和 9 年度末に閉校し、令和 10 年 4 月 1 日に芽室小学校と統合

(2) 中学校

① 芽室中学校

現行地域における学校選択制度（特定地域選択制度）の継続
令和 10 年 4 月 1 日から上美生中学校と統合

② 芽室西中学校

変更なし

③ 上美生中学校

令和 9 年度末に閉校し、令和 10 年 4 月 1 日に芽室中学校と統合